

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 40
要綱上の事業名称	(32) ハザードマップ整備事業
細要素事業名	津波避難支援事業(津波ハザードマップ作成等)
全体事業費	24,125千円

**<概要>**

仙台市東部地域では、堤防などの防災施設の整備後においてもL2津波による浸水が想定されることから、津波からの避難について、継続して周知していくことが必要である。具体的には、平成27年3月に作成した「津波からの避難の手引き(暫定版)第3版」を最新の情報に更新するとともに、今年度新たに作成する仙台市統合型ハザードマップ「防災あんしんガイド」の中に盛り込み、市民へ配布することで津波避難に関する啓発を行う。

なお、本事業は本市で実施している津波避難施設整備事業の整備完了(平成28年度末)に併せて、平成29年度に最終改訂を行うこととする。

- ・「津波からの避難の手引き(暫定版)第3版」改訂業務  
「津波からの避難の手引き」は東日本大震災により津波被害を受けた後の現時点での地形等において津波の危険がある区域と避難場所、速やかな避難のための必要な事項を取りまとめたものである。今回の改訂においては、新規に整備する津波避難施設や新規に指定した民間事業所の津波避難ビルなど、避難場所についての追加情報を記載する。
- ・「防災あんしんガイド」印刷製本業務  
上記業務委託において改訂を行った「津波からの避難の手引き」を、今年度新たに作成する仙台市統合型ハザードマップ「防災あんしんガイド」の中に盛り込んだ形(12頁分)で印刷を行い、市民に配布する。

**<事業費>**

「津波からの避難の手引き(暫定版)第3版」改訂業務委託	972千円
「津波からの避難の手引き(暫定版)第3版」印刷製本業務委託	777千円

**<基幹事業との関連性>**

本事業は、東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台市東部地域における津波から避難すべきエリアや避難場所、津波からの避難に関する考え方等をまとめたものであり、津波対策として実施している防災集団移転事業と一体的なソフト対策として、多重防御による安全なまちづくりの促進効果が期待できる。

**<参考>**

作成スケジュール

平成25年度	4,400千円	(★D23-2-7 配分済み)
平成26年度	7,976千円	(★D23-2-31配分済み)
平成27年度	1,749千円	(今回申請分)
平成28年度	2,000千円	(今後申請予定)
平成29年度	8,000千円	( " )

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。